

# 環境保全協定に基づく「環境保全報告書」

## 令和5年度環境保全報告書

## アサヒ飲料株式会社六甲工場

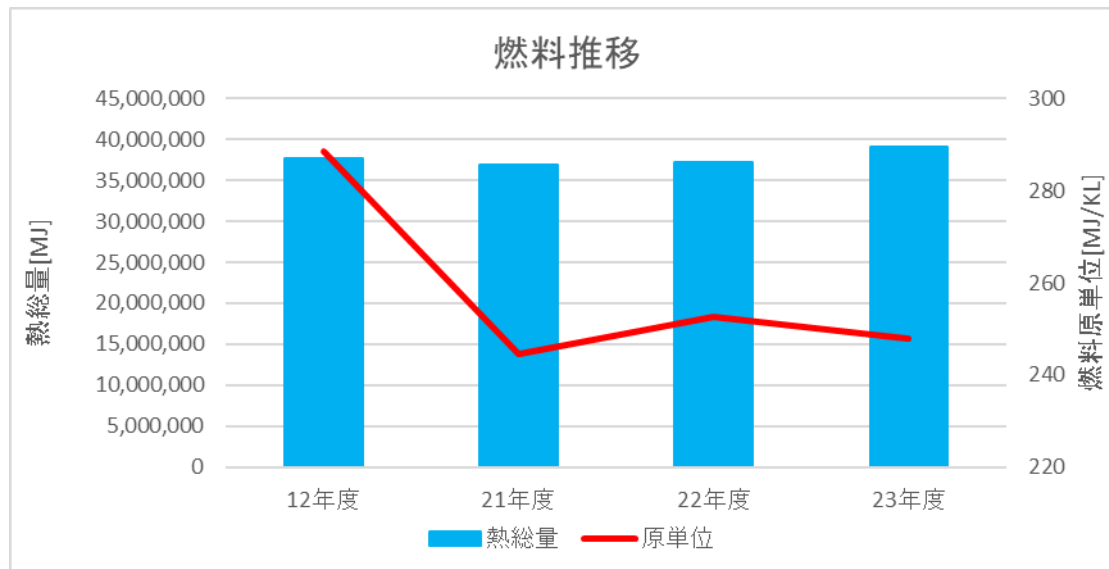
### ①当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

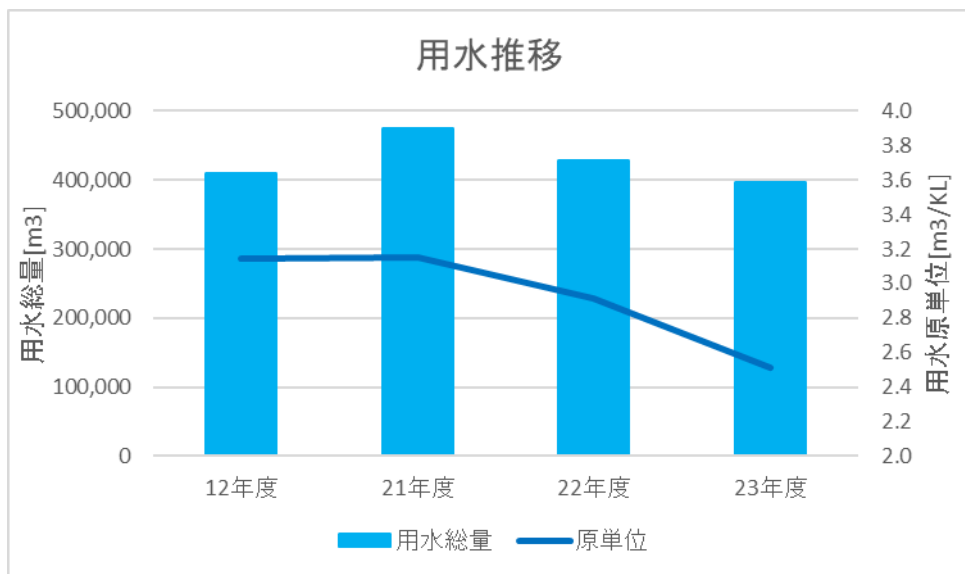
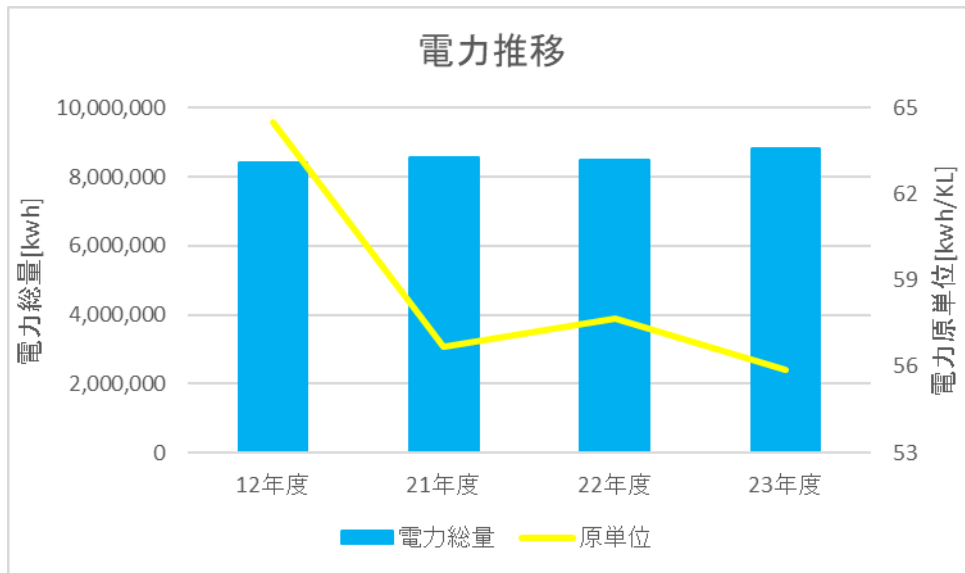
当工場では、エネルギー原単位について前年比1%削減を目標に取り組んでおります。2023年度は、前年度より燃料使用量が1.9%削減、電力は3.1%削減、用水は13.8%削減しました。

今後、計画している省エネ施策を着実に実施し、原単位低減の取り組みを進めていきます。

### ●エネルギー使用量・原単位

項目			12年度 (基準)	21年度	22年度	23年度
製造量	総量	KL	130,414	150,672	147,292	157,822
燃料	総量	m3	836,221	855,176	863,822	908,262
	熱総量	MJ	37,629,945	36,825,761	37,198,077	39,111,761
	原単位	MJ/KL	288.5	244.4	252.5	247.8
電力	電力総量	KWh	8,413,733	8,544,316	8,495,995	8,822,952
	原単位	KWh/KL	64.5	56.7	57.7	55.9
用水	用水総量	m3	410,526	474,470	429,005	396,140
	原単位	m3/KL	3.1	3.1	2.9	2.5





## ②公害防止対策に係る報告

### ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

	目標項目	目標達成状況	目標達成の為に講じた措置・対策
大気汚染防止対策	<p>◆「大気汚染防止法」、「大気汚染防止法第4条第1項の排出基準に関する条例(兵庫県条例)」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」等の法令の規定を遵守する。</p> <p>◆別表ばい煙発生施設からの排出規制に係る目標値を遵守する。</p>	排出に関わる測定結果が自主目標値内であった。別表にて報告。	◆排ガス処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出ガス中のばい煙濃度測定計画」により目標の順守状況を確認した。
水質汚濁防止対策	<p>◆「下水道法」、「神戸市下水道条例」、「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」等の法令の規定を遵守する。</p> <p>◆下水は「下水道法」、「神戸市下水道条例」は、別表に記載する水質に係る管理目標値を遵守する。</p> <p>◆排水は「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」に定める基準を遵守する。</p>	排出に関わる測定結果が法令基準内であった。別表にて報告。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排水の汚濁状態測定計画」及び「排水の汚濁負荷量の測定計画」に基づき目標値の順守状況を確認した。
騒音防止対策	◆「騒音規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。	騒音・振動に関わる測定結果が基準内であった。	「騒音規制法」「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例」の規制基準の遵守状況を確認した。
振動防止対策	◆「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。		
悪臭防止対策	◆「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。	臭気に関わる測定結果が基準内であった。	「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例」の規制基準の遵守状況を確認した。
産業廃棄物対策	<p>◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の法令の規制を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。</p> <p>◆廃棄物の発生量を抑制するとともに、再利用を促進する。</p>	廃棄物に関わる産業廃棄物管理表制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守出来た。資材廃棄ロス削減に取り組んだ。	廃棄物に関わる産業廃棄物管理表制度、廃棄物の保管・処理基準の遵守状況を確認した。

## イ. 2023年度 排水水の汚濁状態測定結果

排水口名: 公共下水道									
項目		管理目標値	測定値		全測定回数	超過目標値を 回数	目標値達成回数	法令基準達成判定	
			最大値 (pHのみ 最小~最大)	平均					
法令排水基準設定項目	1	水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	6.8~7.5	7.3	12	0	○	○
	2	生物化学的酸素要求量(BOD)	159.2mg/L	36	10.6	12	0	○	○
	3	浮遊物質(SS)	49.2mg/L	24	7	12	0	○	○
	4	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 動植物油脂類含有量	27.7mg/l	0.3未満	0.3未満	12	0	○	○
	5	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 鉱油類含有量	4.5mg/l	0.3未満	0.3未満	12	0	○	○
	6	窒素含有量	56.2mg/l	2.0	0.5	12	0	○	○
	7	炭含有量	14.0mg/l	11.0	1.1	12	0	○	○
	8	沃素消費量	198mg/l	1.0	1未満	12	0	○	○
	9	温度	44.5°C	30.0	24.4	11	0	○	○

単位はpHを除き、mg/l

○ 達成 × 未達成

## ウ. 当該年度における窒素酸化物濃度・ばいじん濃度の測定結果

設備名称	窒素酸化物				煤塵			
	自主目標値	2回測定値 (最大)	2回測定値 (平均)	目標 法令判定	自主目標値	2回測定値 (最大)	2回測定値 (平均)	目標 法令判定
貫流ボイラー1号	135.0	0	#DIV/0!	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー2号	135.0	34	26.0	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー3号	135.0	31	28.0	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー4号	135.0	30	23.0	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー5号	135.0	50	40.0	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー6号	135.0	50	40.5	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー7号	135.0	42	38.5	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○

### ③地球温暖化対策に係る報告

#### ア. 今年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量	排出係数	排出量	温暖化係数	合計
				(MJ/Nm3)	kg-CO2/MJ			
燃料の使用	原料炭		kg	28.9	0.0867			
	一般炭		kg	26.6	0.0906			
	A重油		L	39.1	0.0693			
	B重油		L	40.4	0.0705			
	C重油		L	41.7	0.0716			
	LPG		kg	50.2	0.0598			
	都市ガス	869,150	Nm3	45.0	0.0499	1,950,373	1	1,950,373
その他(廃棄物等)		kg	42.3	0.0762				
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	8,822,952	kWh		0.299 (kg-CO2/kwh)	2,638,063	1	2,638,063
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ					
合計						4,588,436		4,588,436

#### イ. 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率	
	22年度	23年度	基準年度(12年度)	23年度	基準年度比 23年度	削減目標比 23年度
CO2	4,421,159	4,376,947	4,888,596	4,588,436	6.1%	-4.8%
CH4						
CO						
HFC						
PFC						
SF6						
合計	4,421,159	4,376,947	4,888,596	4,588,436	6.1%	-4.8%

#### ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減	水滴除去装置ブロワ化	8月開始	8月より運用
2	エネルギー使用の合理化	燃料使用量の削減	原水前処理系統(フィルター&活性炭)切替頻度を2日毎→3日毎	11月開始	11月より運用

### ④公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

今年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

以下、HP 参照

<https://www.asahiinryo.co.jp/csv/eco/>